

## 原料費調整制度に基づく2026年6月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

1ヵ月のご使用量	(消費税込)					
	料金表A 0～20m <sup>3</sup>	料金表B 21～80m <sup>3</sup>	料金表C 81～200m <sup>3</sup>	料金表D 201～500m <sup>3</sup>	料金表E 501～800m <sup>3</sup>	料金表F 801m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	172.04	157.19	154.99	151.69	142.89	135.19
(参考) 5月 調整単位料金	171.23	156.38	154.18	150.88	142.08	134.38

### 2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 30m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	(消費税込)		
	2026年 5月	2026年 6月	増減
適用料金(円/月)	5,747	5,771	24

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量（2018年度～2022年度の5ヵ年平均）に基づき算定しています。

### 3. 原料価格の変動

	(円/t)		対前期 差額
	2025年12月～2026年2月 の平均 (5月検針分)	2026年1月～2026年3月 の平均 (6月検針分)	
平均原料価格 (a)	86,350	87,310	960
LNG	86,240	87,000	760
LPG	84,220	88,730	4,510
基準平均原料価格 (b)	57,250		
差額(a-b)	29,100	30,000	900

- LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

#### 4. 単位料金調整額の算定方法

##### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

###### ■平均原料価格の算定

$$\begin{array}{r} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} \end{array} \begin{array}{r} \boxed{87,000} \times 0.9479 \\ \boxed{88,730} \times 0.0546 \end{array}$$

$\boxed{87,311.95}$

↓(10円未満四捨五入)

$\boxed{87,310}$  円/t

###### ■原料価格変動額の算定

$$\boxed{87,310} \text{ 円/t} - \boxed{57,250} \text{ 円/t} = \boxed{30,060} \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

$\boxed{30,000}$  円/t

###### ■単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = \boxed{30,000} \text{ 円} \quad /100 \text{円} \times 0.0891^{*1}$$

$$= \boxed{26.73} \text{ 円}^{*3}$$

\*1 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

\*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

#### 5. 標準家庭料金の算定方法

東京地区等

$$\begin{array}{r} \text{本体料金(税込)} \\ = \text{基本料金(1,056.00円)} \\ + \text{調整単位料金(130.46円)} \\ \quad \quad \quad \text{基準単位料金(税込) } \uparrow \\ = \boxed{5,771} \text{ 円} \end{array} \quad + \quad \begin{array}{r} \boxed{26.73} \text{ 円} \\ \uparrow \text{単位料金調整額(税込)} \end{array} \times 30 \text{m}^3$$

・本体料金は小数点以下切捨て

##### [参考]

##### 原料費調整制度の概要

- ・為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価を調整する制度です。
- ・「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。